坂瀬池（さかせいけ）

位置図

諸　元

貯水量	342	千m³
満水面積	18.6	ha
受益面積	50.65	ha
堤高	8.5	m
堤長	468	m

寛永元年(1624 年)に築造された坂瀬池は高松市池田町に位置し、受益は川島東町、池田町の一部です。昭和 13 年(1938 年)には川島町が政府より助成を受け、樋管替工、幹線用水路改修工事を実施するなど小規模な改修を重ねてきました。

しかし、池の規模に比べて流域が狭く、上流には城池、公渕池があって満水することが稀であったため、毎年、水利調整には苦労が絶えませんでした。そこで、世話役の人々は、四箇池土地改良区が貯水量の増大と四箇池(神内池、松尾池、城池、公渕池の４ため池の総称；大正 2 年(1913 年)には神内上池を築造)間の水利調整のために実施していた県営四箇池導水路新設工事(1953 年～1960 年)の完成に併せ、四箇池への編入をたびたび陳情しました。その後、昭和 37 年(1962 年)3 月 23 日開催の四箇池土地改良区総代会で編入が議決され、四箇池掛りとなりました。四箇池は 6 ヶ所のため池になりましたが、四箇池という名のままで呼ばれています。

四箇池土地改良区管内のため池は、どの池も築造後 300 年以上経過し、老朽化が進んでいましたが、幸い昭和 35 年(1960 年)3 月に完成した県営四箇池導水路新設工事で四箇池間相互に水を融通可能となり、昭和 50 年(1975 年)からは香川用水の恩恵も受けられるようになったため、各池の貯水開始時期を調整しながら、四箇池を順次改修していきました。そのうち坂瀬池は昭和 53 年(1978 年)に堤体、樋管、余水吐等の全面改修を県営大規模老朽ため池等整備事業として実施し、昭和 56 年(1981 年)5 月に完成となり、現在に至っています。

坂瀬池

改修記念碑